

川島町可燃ごみ 20%減量化計画

3か年の主な取組み

平成 29 年度 (H28 対比▲ 366 t ▲ 6.01%)

- ・川島町可燃ごみ 20%減量化計画の策定
- ・職員向け分別説明会の開催
- ・ごみすっきり応援団の任命 (田園戦士かわじマン)
- ・ごみ減量化地区別説明会の先行開催 (中山地区)

平成 30 年度 (H28 対比▲ 925 t ▲ 15.18%)

- ・ごみ減量化地区別説明会の開催 (中山地区以外)
- ・ごみ減量化ポスター・標語コンクールの実施
- ・ごみ減量化シンポジウム 2018 の開催
- ・事業系一般廃棄物処分手数料の改定 (審議会の開催、条例改正)
- ・ごみ減量化PR動画の作成

令和元年度 (H28 対比▲ 1,237 t ▲ 20.29%)

- ・ごみ減量化シンポジウム 2019 の開催
- ・事業系一般廃棄物処分手数料の引上げ (250 円 /10 kg)
- ・事業系ごみの展開検査実施

一人ひとりが意識 ↓ 理解 ↓ 行動することで
ごみはもっと減らすことができます

3年間の減量化の取組み

平成 29 年度

まずは職員自ら減量化に取り組もうと、町職員の分別説明会を開催しました。また、田園戦士かわじマンを町の「ごみすっきり応援団」に任命したり、町民の皆さんにも減量化をお願いする「ごみ減量化地区別説明会」を、中山地区から先行して開催しました。「川島町可燃ごみ 20% 減量化計画」を町職員で策定したのもこの年度です。

取組みの結果は、平成 28 年度対比▲ 366 t ▲ 6.01% でした。

平成 30 年度

2年目は、中山地区以外の 5 地区で説明会を開催しました。説明会は 49 会場 1,400 人余りの方に出席していただきました。また、ごみ減量化のポスター・標語コンクール、ごみ減量化検定、園児対象のごみ収集車体験会、先進自治体の取組みを紹介したシンポジウムや PR 動画の作成など、さまざまな事業を開催しました。さらには、事業系ごみの処分手数料を改定するため、審議会での審議や条例の改正を行いました。この結果、合計で▲ 925 t ▲ 15.18% になりました。

平成 31・令和元年度

最終年度は引き続き、ポスター・標語コンクールを行い、秋に開催したごみ減量化シンポジウムで表彰しました。優秀作品は収集車の側面に印刷し、町内を走っています。また、事業者などへは立入調査や展開検査を継続して実施したほか、10 月からは、事業系ごみの処分手数料を 10 kg 当り 250 円に引き上げさせていただきました。

3 年の計画が終わり、最終的な結果は、合計で 1,237 t、率にして 20・29% の減量となり、当初の目標を達成することができました。

さらなる高みを目指し

町では今年度から、町民生活課内に「ゼロ・ウェイスト推進室」を設置しました。今あるごみ処理施設の延命化と、さらなるごみの減量化、そして新たな処理施設の研究をします。

20% の減量を達成した今、もう一度原点に戻り、●ごみ分別の徹底●水やり、食べやり、使いやり●草、葉は乾かしてからをお願いします。一人ひとりが意識 ↓ 理解 ↓ 行動することができます。さらなる高みを目指し、無理なく、長く、続けましょう。



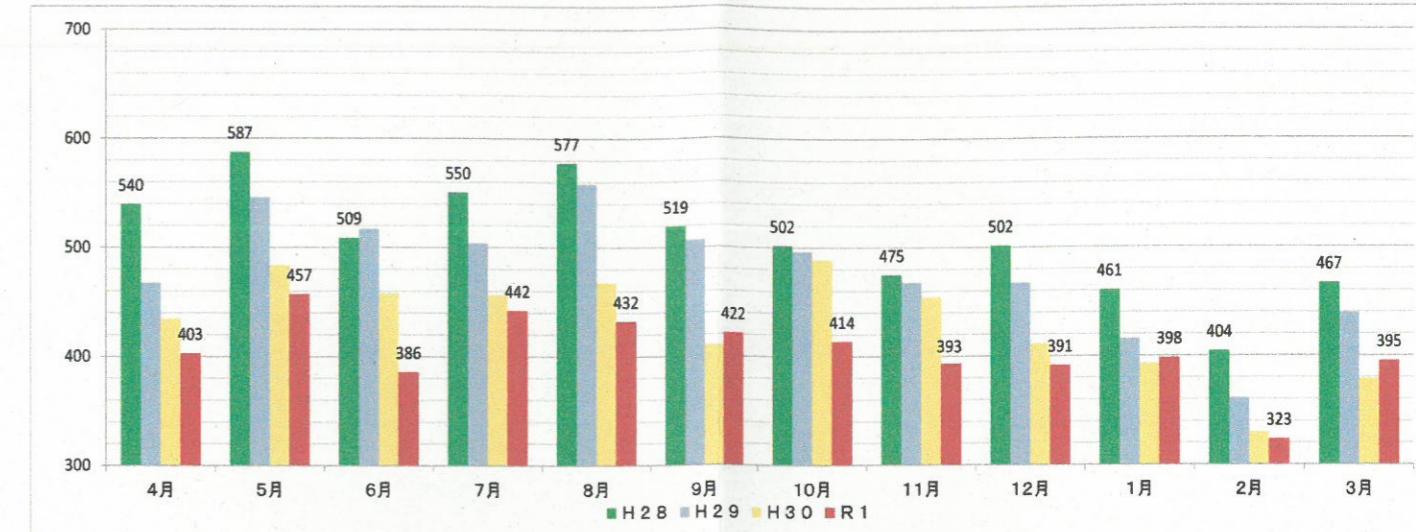
川島町長 飯島和夫

究極の目標は「ゼロ・ウェイスト」。私たちの生活がより豊かに、より暮らしやすくなるように、皆さんのご協力をこれからもお願いします。

問合せ 町民生活課
ゼロ・ウェイスト推進室
☎ 0297-5666

*ゼロ・ウェイスト…ごみをどう処理するかでなくごみ自体を出さない社会

可燃ごみ削減量の推移 (平成 28 年度～令和元年度)



平成 28 年度 6,093t → ▲ 1,237t
令和元年度 4,856t

ありがとうございます！皆さんのおかけです！

川島町の可燃ごみ減量化 20% 達成！

3 年間で 1,237 t の削減に成功



町民の皆さん一人あたり一日に出すごみの量が県内ワースト第 3 位になった川島町。危機感を持った町ではごみの減量化に取り組み、3 年間で 1,200 t、20% を超える可燃ごみの減量に成功しました。今月号では、これまでの取組みを振り返り、さらに高みに向かって歩き始めた町をご紹介します。

可燃ごみの減量化に本格的に取り組むことになった当時、川島町のごみの量は、埼玉県平均の約 1.1 倍、町民一人当たり、毎日 1 kg 以上を出していました。もちろん、この中には事業所から出されるごみも含まれていますが、それでも、平成 26 年度には、県内で 3 番目にごみが多い、不名誉な記録をしてしまいました。

県内ワースト第 3 位に危機感を持った町では、「まずは可燃ごみを 20% 減らそう」と、平成 29 年 7 月にごみ減量化対策推進室を設置し、可燃ごみの減量に本格的に取り組むことにしました。

また、平成 28 年度の処理量を基準にして、平成 29 年度からの 3 年で可燃ごみを 20% 減らす、「川島町可燃ごみ 20% 減量化計画」を町民みんなでチャレンジ！可燃ごみを 20% 減らそう」を策定しました。

町はもとより、町民の皆さんや事業者の皆さんにさまざまな形で取り組んでいただきた結果、3 年間で 1,237 t、率にして 20・29% の減量化を達成することができました。

改めて、皆さんのご理解とご協力に感謝を申し上げます。

県内ワースト第 3 位に危機感